

## 平成30年度 文教委員会資料⑤

【所管事務の調査（報告）】

公益財団法人川崎市スポーツ協会「経営改善及び連携・活用に関する方針」  
の策定について

資料

経営改善及び連携・活用に関する方針（公益財団法人川崎市スポーツ協会）

市 民 文 化 局

（平成30年8月24日）

# 経営改善及び連携・活用に関する方針

(平成30(2018)年度～平成33(2021)年度)

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市スポーツ協会	所管課	市民文化局市民スポーツ室
----------	-----------------	-----	--------------

## 経営改善及び連携・活用に関する方針

### 法人の施策概要

#### 1 事業概要

- (1) スポーツ文化の普及・振興事業
- (2) スポーツ指導者の養成・確保に関する事業
- (3) スポーツ団体の育成・指導
- (4) 競技力の向上に関する事業
- (5) 受託したスポーツ振興事業の実施
- (6) スポーツ施設等の管理運営
- (7) その他目的を達成するために必要な事業

#### 2 設立目的

市民のスポーツ文化の普及・振興・競技スポーツの強化及びスポーツに関する指導者・組織の育成を図ることにより、川崎市のスポーツ振興の核づくりに努め、もって明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的とします。

#### 3 法人のミッション

市民が日常生活の中で積極的・継続的にスポーツ活動が実践できるように、市民大会の継続開催や市民スポーツ活動の普及・振興及び競技力の向上を重点目標とし、この目標を実現するためにスポーツに関する指導者・組織の育成・支援を図り、川崎市のスポーツ振興の核づくりを実現し、明るく豊かなスポーツライフの形成のために、生涯スポーツの各事業を展開します。

### 本市施策における法人の役割

川崎市では、少子高齢化、地域コミュニティの希薄化などが進行している中、市民の誰もが、いつでも、どこでもスポーツ・レクリエーション活動に親しむことができる環境を整備し、健康増進やコミュニティの形成を図るため、生涯スポーツの推進に力を入れています。また、競技力の向上を目指し、全国・世界レベルに通用する選手や指導者の育成を図るとともに、ホームタウンスポーツ活動を振興し、スポーツを通して市民に川崎への愛着と誇り、連帯感を育むことを行っています。

川崎市スポーツ協会においては、

- ① 子供から高齢者まで幅広い世代を対象に裾野を広げ、数多くの種目のスポーツ教室を開催して、スポーツ体験機会の拡大を図る。
- ② 多様化するスポーツの中で市民のニーズを的確に捉え、競技人口の多少にかかわらず専門性を発揮しながら、生涯スポーツ・競技スポーツ・ホームタウンスポーツの振興を図る
- ③ 市民へのスポーツ振興や各競技の普及を目的にスポーツ指導者の育成や、選手強化、競技の底辺の拡大を図るために中間支援組織として、スポーツ協会に加盟している37競技団体とこれまで以上に連携を強化し、市と各団体のつなぎ役を担う。

		基本政策	施策
法人の取組と関連する計画	市総合計画における位置づけ	スポーツ・文化芸術を振興する	スポーツのまちづくりの推進
	分野別計画	川崎市スポーツ推進計画	

### 現状と課題

平成18年度から受託していたスポーツ施設の指定管理が平成28年度に全てなくなるといった厳しい状況になり、人員配置の見直しや給与体系の見直しなど、経営基盤の安定化に向けた内部改革を実施してまいりましたが、平成28年度決算においては、経常収支が赤字となるなど、厳しい経営状況となっております。

一方で、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機にスポーツに参加する人口の増加が見込まれることから、スポーツを「する」、「観る」、「支える」の観点によりスポーツに取り組む機会の創出や競技力の向上、さらにスポーツを指導する指導者や競技団体の育成など、スポーツ協会と連携を図り、更なるスポーツの普及に取り組む必要があります。また、現行事業の維持を図るとともに、市民参加型の事業を優先的に展開することにより、市民生活に根差した事業の深化を図る必要があります。さらに、少子高齢化が進む中でスポーツにおける次世代の担い手不足も懸念されることから、これまで培ってきた各競技団体やスポーツ団体等の関係を活かし、人材育成に取り組む必要があります。

### 取組の方向性

#### (1) 経営改善項目

- 1 川崎市のスポーツ振興の担い手として、定期的に事業運営会議を開催し、協会全体の経営計画の策定及び評価、施設運営管理状況の把握を行い、公益性の高い組織整備に努める。
- 2 現在実施している事業の評価を進め、事業の見直し、一部廃止、本部経費の削減等を行いながら、効率的・効果的な事業執行を進める。
- 3 自主的な運営に向け、スポーツ施設の次期指定管理事業の獲得を目指す。

#### (2) 本市における法人との連携・活用

スポーツを「する」、「観る」、「支える」の観点から推進します。

- 1 「する」: 市民大会やスポーツ教室などを開催し、体験機会の拡充を図るとともに、生涯スポーツの推進や競技力の強化を実施します。
- 2 「観る」: 国内外のトップクラスの選手が競うトランポリン競技大会を開催するとともに、パラリンピック競技種目関連の大会の開催の実現に向けた調整を実施します
- 3 「支える」: 指導者や競技団体の育成などスポーツ指導者の育成・強化に努めるとともに、ボランティアの育成を実施します。

# 1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する計画

## 4カ年計画の目標

- 1 スポーツを市民一人一人の生活に根付いた文化にすること、市民へのスポーツ振興や各競技の普及を行うため、市民ニーズに合わせた教室や幅広い対象に裾野を広げ、多種目のスポーツ教室等の事業を実施していきます。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて機運を盛り上げていくため、オリパラに関連した体験講座・講演会を実施します。
- 2 スポーツ活動の普及・振興のために必要不可欠な指導者の養成と次世代を担う人材の育成を行うため、指導者の研修を行うとともに、スポーツ指導者の派遣を行います。
- 3 市民に快適なスポーツ施設を提供するとともに、施設管理施設にて、市民のニーズにあった事業実施及び随時、新規指定管理業務等への参入を行い、市民へのスポーツの普及・振興を行います。

## 本市施策推進に向けた事業計画

取組No.	事業名	指標	現状値	目標値					単位
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度		
①	スポーツ振興事業	市民大会等参加者数	29,419	29,430	29,500	29,500	29,500	人	
		オリンピック・パラリンピック関連事業・講演会等参加者数	5,519	5,600	5,700	5,800	5,800	人	
		スポーツ教室等参加者数	2,631	2,700	2,720	2,750	2,770	人	
		事業別の行政サービスコスト	11,589	15,672	2,849	△ 2,465	849	千円	
②	指導者育成・派遣事業	指導者派遣団体の延べ数	19	19	19	19	19	団体	
		指導者派遣延べ日数	299	300	300	300	300	日	
		指導者研修会	1	2	2	2	2	回	
		事業別の行政サービスコスト	442	54	54	54	54	千円	
③	施設管理運営事業	その他施設運営獲得数	3	4	4	3	4	件	
		管理運営収入	34,676	54,351	54,351	49,036	54,351	千円	
		事業別の行政サービスコスト	△ 4,604	△ 3,080	△ 3,080	2,234	△ 3,080	千円	

## 経営健全化に向けた事業計画

取組No.	項目名	指標	現状値	目標値					単位
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度		
①	正味財産額	正味財産の増加	192,952	177,414	173,680	169,946	171,680	千円	
②	正味財産の収入の増加	正味財産の収入額	172,868	170,657	179,266	179,266	181,266	千円	
③	正味財産増減計算書の当期増減額	当期経常増減額	△ 17,055	△ 16,939	△ 3,734	△ 3,734	△ 1,734	千円	

## 業務・組織に関わる計画

取組No.	項目名	指標	現状値	目標値					単位
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度		
①	コンプライアンスの遵守に係る法人組織体制の構築	コンプライアンスに反する事案の発生件数	0	0	0	0	0	件	
②	人材育成等の研修計画	研修会・協議会等への参加者数	2	4	4	4	4	人	
③	適正な業務運営	定期的な運営会議の開催数	4	4	4	4	4	回	

## 2. 本市施策推進に向けた事業計画①

<b>事業名</b>		スポーツ振興事業						
<b>指標</b>		①市民大会等参加者数、②オリパラ開催数、③スポーツ教室等参加者数						
<b>現状</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここ数年の市民大会等開催数は51回から53回で推移している。会場確保が課題です。</li> <li>・オリンピック交流・障害者スポーツ体験講座はH28年度から始まりH29年度は実績36箇所です。</li> <li>・市民大会やオリパラ事業並びにその他事業での参加者数の増加ができるよう事業内容の工夫を行い開催していきます。</li> </ul>						
<b>行動計画</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各競技団体に市民大会の意義の周知や、各競技の魅力伝えていくことでスポーツを実施し大会に参加する市民を増やします。</li> <li>・2020東京オリンピックまでに市内の全小学校で体験、普及振興できるようにします。またオリンピック終了後も障害者スポーツの普及振興を図るため、引き続き事業を行っていきます。</li> <li>・市民のニーズを収集・把握して、参加しやすいプログラム内容にすることでスポーツを実施する市民の増加に取り組みます。</li> </ul>						
スケジュール		現状値		目標値			単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	市民大会等参加者数	29,419	29,430	29,500	29,500	29,500	人
	説明	各競技団体ごとに開催する市民大会の参加者数						
	2	オリンピック・パラリンピック関連事業・講演会等参加者数	5,519	5,600	5,700	5,800	5,800	人
	説明	市内小・中学校で開催する体験・講演会の参加者数						
3	スポーツ教室等参加者数	2,631	2,700	2,720	2,750	2,770	人	
説明	スポーツ教室等実施事業の参加者数							
4	事業別の行政サービスコスト	11,589	15,672	2,849	△ 2,465	849	千円	
説明	事業別の財政支出を算出							

## 本市施策推進に向けた事業計画②

<b>事業名</b>		指導者育成・派遣事業						
<b>指標</b>		①指導者派遣団体の延べ数、②指導者派遣日数、③指導者研修会数						
<b>現状</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者派遣団体の延べ数は現状維持の傾向にある。平成29年度実績19団体</li> <li>・各種目団体の協力で微増しています。</li> <li>・指導者派遣事業を36団体並びに他種目の団体に周知し、研修を行います。</li> </ul>						
<b>行動計画</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの地域でスポーツ団体から派遣要請があることから、工夫を凝らしてこれらの要請に応じていくようにします。</li> <li>・指導者派遣システムの確立には各種目単位の指導者を多く育成する必要があります。このために講習会を開催しより多くの指導者の登録を達成します。</li> <li>・指導者研修会をおこなうことにより、多くの指導者の育成並びに新規指導者の発掘・育成をおこない、市民のニーズに合わせた指導者の派遣ができるようにします。</li> </ul>						
スケジュール		現状値		目標値			単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	指導者派遣団体の延べ数	19	19	19	19	19	団体
	説明	多くの派遣要請があり、これらの要請に応えられるようにする						
	2	指導者派遣延べ日数	299	300	300	300	300	日
	説明	指導者派遣システムの確立に必要な各種目単位の指導者の育成						
3	指導者研修会	1	2	2	2	2	回	
説明	加盟37団体並びに他種目の指導者の育成を行うための研修							
4	事業別の行政サービスコスト	442	54	54	54	54	千円	
説明	事業別の財政支出を算出							

### 本市施策推進に向けた事業計画③

<b>事業名</b>		施設管理運営事業						
<b>指標</b>		①その他施設運営数、②管理運営収入						
<b>現状</b>		・とどろきアリーナ、青少年の家、富士見公園事務所、宮前スポーツセンター講師派遣等の管理運営を行っています。						
<b>行動計画</b>		・次期新規指定管理事業やその他施設の参入を見据え、情報の共有、収集を行いながら検討を行っています。						
スケジュール		現状値	目標値				単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	その他施設運営獲得数	3	4	4	3	4	件
	説明	公平で平等な利用状況の実現や利用者のニーズに沿った施設運営の為の施設獲得数						
	2	管理運営収入	34,676	54,351	54,351	49,036	54,351	千円
説明	利用者のニーズに沿った魅力ある事業の実施							
3	事業別の行政サービスコスト	△ 4,604	△ 3,080	△ 3,080	2,234	△ 3,080	千円	
説明	事業別の財政支出を算出							

### 3. 経営健全化に向けた計画①

<b>項目名</b>		正味財産額						
<b>指標</b>		正味財産の増加						
<b>現状</b>		・会計システムの変更など、会計処理での改善を実施						
<b>行動計画</b>		・黒字となる自主事業等の継続、拡大とともに、赤字事業の縮小、廃止にも取り組む必要があります。また、削減された補助金を本部経費や自主事業の利益で賄う予算づくりや事業を実施します。						
スケジュール		現状値	目標値				単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	正味財産の増加	192,952	177,414	173,680	169,946	171,680	千円
	説明	事業の見直し、本部経緯費等の削減						

### 経営健全化に向けた計画②

<b>項目名</b>		正味財産収入の増加						
<b>指標</b>		正味財産の収入額						
<b>現状</b>		受取入会金、事業参加料、管理運営収益等は横ばいとなっている。						
<b>行動計画</b>		オリンピック・パラリンピック関連事業の継続・拡大や事業参加料収入・協賛金等の収入を増やしていくための取り組みを進めています。						
スケジュール		現状値	目標値				単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	正味財産の収入額	172,868	170,657	179,266	179,266	181,266	千円
	説明	補助金等の削減を補うための重要な指標となる。						

### 経営健全化に向けた計画③

<b>項目名</b>		正味財産増減計算書の当期増減額							
<b>指標</b>		当期経常増減額							
<b>現状</b>		光熱水料費や消耗品費等の経費削減策を実施しています。							
<b>行動計画</b>		引き続き経費削減策として管理固定費から人件費、事業経費削減を行いながら新規事業への参入を検討します。							
<b>スケジュール</b>		現状値		目標値			単位		
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度			
<b>指標</b>	1	当期経常増減額		△ 17,055	△ 16,939	△ 3,734	△ 3,734	△ 1,734	千円
		説明 補助金の削減を補うための重要な指標							

### 4. 業務・組織に関する計画①

<b>項目名</b>		コンプライアンス遵守に係る法人組織体制の構築							
<b>指標</b>		コンプライアンスに反する事案の発生件数							
<b>現状</b>		コンプライアンスのついて、随時理事・職員を集め研修を行っている。							
<b>行動計画</b>		今後も随時理事・職員等を対象にコンプライアンスについて研修を行い健全な組織構築を行います。							
<b>スケジュール</b>		現状値		目標値			単位		
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度			
<b>指標</b>	1	コンプライアンスに反する事案の発生件数		0	0	0	0	0	件
		説明 公益財団法人としての健全な組織の構築に向けた重要な指標							

### 業務・組織に関する計画②

<b>項目名</b>		人材育成等の研修計画							
<b>指標</b>		研修会・協議会等への参加者数							
<b>現状</b>		公益に資する活動をしているか、公益目的事業を行う能力・体制があるかなど、公益法人が満たさなければならない基準が厳格化されており、経理的基礎・技術的能力が必要となっている。							
<b>行動計画</b>		職員・プロパーの資質向上のため、意識改革と知識の習得・技術の向上を図る研修・研究会への参加やOJTによる人材育成を行います。							
<b>スケジュール</b>		現状値		目標値			単位		
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度			
<b>指標</b>	1	研修会・協議会等への参加者数		2	4	4	4	4	人
		説明 資質の向上等を図るための研修会への参加者数							

### 業務・組織に関する計画③

<b>項目名</b>		適正な業務運営							
<b>指標</b>		定期的な運営会議の開催数							
<b>現状</b>		公益法人として、組織等の整備を随時進め、適正な公益法人としての活動を行っています。							
<b>行動計画</b>		定期的な運営会議を開催し、施設運営管理状況の把握と、協会全体の経営計画の策定及び評価を行い改善していきます。							
<b>スケジュール</b>		現状値		目標値			単位		
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度			
<b>指標</b>	1	定期的な運営会議の開催数		4	4	4	4	4	回
		説明 組織整備の重要な指標となる							

(参考)本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する計画に設定する指標一覧

本市施策推進に向けた事業計画

指標	指標の考え方	現状値	目標値	目標値の考え方
		平成29(2017)年度	平成33(2021)年度	
①スポーツ振興事業				
1	市民大会等参加者数 算出方法 各競技団体ごとに実施される市民大会の参加者の合計	29,419人	29,500人	大会開催のチラシ配布やホームページを通してPR活動を行い、大会参加者の増加を目指す。スポーツ施設の使用が既に満杯状況にあるため、将来は学校施設などの有効活用と結びつけて打開策を講じていく。 (参考:H26-H29平均 27,869人)
2	オリパラ関連事業・講演会等参加者数 算出方法 オリンピック・パラリンピック関連事業・講演会等の参加者の合計	5,519人	5,800人	2020年度までに市内全小学校で障害者スポーツ体験会を行うが、大会終了後も市内中学校にも拡大するなど事業継を続していく。 (参考:H26-H29平均 平均 2,438人)
3	スポーツ教室等参加者数 算出方法 スポーツ教室等実施事業の参加者数の合計	2,631人	2,770人	新しい教室事業を企画して参加者数を増やす。長期の休業期を利用してジュニアスポーツスクールを開催。サマースポーツ・ウインタースポーツ教室の開催 (参考:H26-H29平均 4,332人)
4	事業別の行政サービスコスト 算出方法 事業別の財政支出を算出	11,589千円	849千円	自己収入よりも事業費コストが上がらないように経費の削減、見直しを随時行っていく。(参考:H26-H29平均 1,809千円)
②指導者育成・派遣事業				
1	指導者派遣団体の延数 算出方法 指導者育成・派遣事業において指導者を派遣した団体の延べ数	19団体	19団体	多くの地域でスポーツグループからの要請があり、これらの要請に応えていくようにするが、経費の関係で現状維持に努める。 (参考:H26-H29平均 17団体)
2	指導者派遣述べ日数 算出方法 指導者育成・派遣事業に対し、指導者派遣している日数の合計	299日	300日	指導者派遣システムの確立には各種目単位の指導者を多く育成並びに派遣する必要がある。このため講習会多く開催し、より多くの指導者の登録・派遣を達成する。 (参考:H26-H29平均284日)
3	指導者研修回数 算出方法 指導者育成・派遣事業において、指導者の研修会の合計	1回	2回	費用対効果に配慮しながら、できる範囲内で地域グループからの希望に副えるよう、指導者の育成のための研修会を設定する。 (参考:H26-H29平均 1.5回)

4	事業別の行政サービスコスト		事業別の財政支出を把握するための重要な指標となる。	442千円	54千円	自己収入よりも事業費コストが上がらないように経費の削減、見直しを随時行っていく。 (参考:H26-H29平均 257千円)
	算出方法	事業別の財政支出を算出				
<b>③施設管理運営事業</b>						
1	施設運営獲得数		安定した経営基盤の確立及び、市民にスポーツの場を提供する上で重要な指標となる。	3回	4回	とどろきアリーナ、青少年の家、宮前スポーツセンター、富士見管理の事業を行っている。また、新しい施設管理事業への参入準備を行っている。
	算出方法	施設管理事業として獲得した施設の数				
2	管理運営収入		補助金の削減を補い、自主財源を増額する上で重要な指標となる。	34,676千円	54,351千円	補助金の削減を補い、自主財源を増額する。
	算出方法	施設管理事業としての運営収入の合計				
3	事業別の行政サービスコスト		事業別の財政支出を把握するための重要な指標となる。	△4,604千円	△3,080千円	自己収入よりも事業費コストが上がらないように経費の削減、見直し並びに新規指定管理事業への参入を行っていく。
	算出方法	事業別の財政支出を算出				
<b>経営健全化に向けた事業計画</b>						
指標		指標の考え方		現状値	目標値	目標値の考え方
				平成29(2017)年度	平成33(2021)年度	
<b>①正味財産の増加</b>						
1	正味財産合計		事業の見直しや、本部経費等の削減が行われているかを知る上で重要な指標となる。	192,952千円	171,680千円	自己の財源を確立させられるよう事業の見直し、一部廃止、本部経費等の削減を行い正味財産の赤字の解消を行っていく。このためには収益性を高めていく方策を立てていく。 (参考:H26-H29平均 210,904千円)
	算出方法	(資産合計) - (負債合計)				
<b>②正味財産収入の増加</b>						
2	正味財産の収入額		補助金の削減を補い、自主財源を増額する上で重要な指標となる。	172,868千円	181,266千円	自己の財源を確立させられるよう事業の見直し、一部廃止、本部経費等の削減を行い正味財産の収入の増加を行っていく。(参考:H26-H29平均263,129千円)
	算出方法	収入の合計				
<b>③正味財産増減計算書の当期増減額</b>						
3	当期経常増減額		光熱水料費や消耗品などの経費削減策の実施状況を知る上で重要な指標となる。	△17,055千円	△1,734千円	最低限での人員配置による人件費の削減、各事業の見直しによる経費削減を行うために管理固定費の削減を進めていく。(参考:H26-H29平均 ▲4,557千円)
	算出方法	(経常収益) - (経常費用)				



業務・組織に関わる計画

指標	指標の考え方	現状値	目標値	目標値の考え方
		平成29(2017)年度	平成33(2021)年度	
①市民ニーズに対応する法人組織体制の構築				
1	<p>算出方法</p> <p>コンプライアンスに反する事案の発生件数</p>	0件	0件	<p>目標値の考え方</p> <p>これまでに事案が発生したことはなく、今後も違反事例を発生させることなくコンプライアンスを遵守する。</p>
2	<p>算出方法</p> <p>研修会・協議会等に参加した職員プロパーの人数</p>	2人	4人	<p>目標値の考え方</p> <p>研修会・協議会等に参加し、職員・プロパーの資質向上を図る。</p>
②適正な業務運営				
1	<p>算出方法</p> <p>定期的な経営会議の開催数</p>	4回	4回	<p>目標値の考え方</p> <p>定期的に運営会議や事業運営会議を行い、協会全体の経営計画の策定及び評価や施設運営管理状況の把握を行い改善していく。公益法人として公益性の高い組織等の整備や改革を今後行っていく。</p>

# 資金計画表

[ 平成30年度～平成33年度 ]

法人名: 公益財団法人川崎市スポーツ協会

(単位: 千円)

項目			決算	予算	計画		
			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
経常収支	収入	事業収入	148,532	136,799	145,000	145,000	147,000
		補助金収入	4,155	3,475	3,475	3,475	3,475
		委託費収入	15,096	25,525	25,525	25,525	25,525
		寄付金収入	66	66	66	66	66
		雑収入	2,572	2,363	2,500	2,500	2,500
		受取利息・受取会費	2,447	2,429	2,700	2,700	2,700
		<b>経常収入合計</b>	<b>172,868</b>	<b>170,657</b>	<b>179,266</b>	<b>179,266</b>	<b>181,266</b>
	支出	事業費	173,838	177,587	174,000	174,000	174,000
		管理費	16,086	10,009	9,000	9,000	9,000
		減価償却費(△)	△ 2,130	△ 2,333	△ 2,333	△ 2,333	△ 2,333
<b>経常支出合計</b>		<b>187,794</b>	<b>185,263</b>	<b>180,667</b>	<b>180,667</b>	<b>180,667</b>	
<b>経常収支</b>		<b>△ 14,926</b>	<b>△ 14,606</b>	<b>△ 1,401</b>	<b>△ 1,401</b>	<b>599</b>	
投資収支	固定資産取得支出	0	0	0	0	0	
	差入保証金支出	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	
	基本財産取得支出	50,000	0	0	0	0	
	特定資産取得支出	383	383	383	383	383	
	固定資産売却収入	0	0	0	0	0	
	基本財産取崩収入	50,000	0	0	0	0	
	特定資産取崩収入	4,069	1,500			500	
	差入保証金返還収入	0	1,134	1,134	1,134	1,134	
	<b>投資等収支</b>	<b>2,552</b>	<b>1,117</b>	<b>△ 383</b>	<b>△ 383</b>	<b>117</b>	
財務収支	借入れによる収入	0	0	0	0	0	
	リース債務返済支出	1,749	1,749	1,749	1,749	1,749	
	借入金償還による支出	0	0	0	0	0	
	利息/配当金の支払	0	0	0	0	0	
	<b>財務収支</b>	<b>△ 1,749</b>	<b>△ 1,749</b>	<b>△ 1,749</b>	<b>△ 1,749</b>	<b>△ 1,749</b>	
<b>現金預金増加高</b>		<b>△ 14,123</b>	<b>△ 15,238</b>	<b>△ 3,533</b>	<b>△ 3,533</b>	<b>△ 1,033</b>	
期首現金預金		49,397	35,274	20,036	16,503	12,970	
期末現金預金		35,274	20,036	16,503	12,970	11,937	